

3類型	観光資源、農林水産物	通巻番号	9-21-004
地域資源名	沖縄のビーチ、沖縄音楽、沖縄の伝統舞踊 沖縄島野菜畑、沖縄島野菜(ゴーヤー、島 カボチャ、島ニンジン、野菜パパイア)	認定日	平成21年7月1日
地域	沖縄県宮古島市	所管省庁	農林水産省、国土交通省、 経済産業省

事業名: 宮古島の観光資源を活用した「美と健康」志向型観光商品の開発・販売事業

会社名: 有限会社シンプロ

所在地: 沖縄県宮古島市平良字
下里4-103

連絡先: TEL: 0980-75-4380

H P: <http://www.miyatabi.com/index.html>

事業概要(新たな活用の視点)

・宮古島の観光資源の特長を総合的に活用した「美と健康」志向型の観光商品を運動・食事その他の専門家と連携し開発する。宮古島のスポーツアイランドイメージ拡大も含め、多様な観光商品を開発し販路開拓を実現化していく。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・ヘルスツーリズムが全国的に増加傾向にある中で、農業体験、伝統芸能体験などの文化体験的要素も含めて、宮古島の観光資源を総合的に活用することで、短期型から長期滞在型、若年層から熟年層、また、季節毎の商品展開等、多様なニーズに対応可能な商品構成を提案することで差別化を図る。

◆市場性

・宮古島への入域観光客数は年間約40万人で推移しているが、その現状は、「周遊型」が約4割を占め、最近のトレンドである「着地型体験プログラム」商品の提供は未だ途上であることから潜在需要の開拓が期待できる。

◆販路

・商品開発段階から大手エージェン特等との連携を図り、実際の販売先を想定した商品開発を行うことで販路を形成していく。

地域資源における関係事業者との連携

・地元行政機関等と連携し、運動・食事・医療分野(健康管理等)の指導を仰ぐほか、商工会議所、観光協会と協力体制を構築する。また、農業・伝統芸能体験等を実施する団体と連携し商品開発を進めていく。



[宮古島来間大橋]



[宮古島東平名岬]



[料理体験]